

# DiNQL データ集計結果(2025 年度)

## 概要

本事業では、事業に参加した全国の病院からインターネット経由で労働と看護の質に関するデータ<sup>\*1</sup>を収集し、同規模・同機能を備える病院や病棟と比較したベンチマーク評価を行い、看護の質向上のための改善活動を推進しています。

本事業で扱うデータ項目のうち、「労働と看護の質の基本となる項目」「他団体との比較が可能」「分析対象件数が小さくなりすぎない」等の基準により選択した下記 5 項目の集計結果の一部をご紹介します。なお、本ページに掲載したデータの引用時は、引用元を明示してください。

集計結果を掲載するデータ項目：

- ・褥瘡推定発生率
- ・カテーテル関連の尿路感染（CAUTI）発生率
- ・転倒・転落発生率
- ・誤薬発生率
- ・看護職員の時間外労働時間(非管理職)

※パーセンタイル値：データを小さい順に並べたとき、最小値から数えて全体の●%に位置する値を示す（25 パーセンタイル値は最小値から数えて 25% に位置する値、75 パーセンタイル値は 75% に位置する値を指す）。

※標準偏差：分布の拡がりを表す統計量の一つ。数値が大きいほど、分布のバラつきが大きいことを示す。

集計対象月：

2025 年度 10 月分

集計対象病院・病棟：

集計対象月にデータの入力があった 441 病院・4,098 病棟

病院の稼働病床数

	病院数	病棟数
200 床未満	118	356
200～399 床	159	1,130
400～599 床	95	1,118
600～799 床	44	833
800 床以上	24	649
(未回答)	1	12

## 病床区分

	病棟数
一般病床	3,511
療養病床	85
感染症病床	3
結核病床	8
精神病床	103
(未回答)	388

## 算定する入院料

	病棟数
入院基本料のみ	2,497
特定入院料のみ	796
入院基本料および特定入院料	410
(未回答)	395
(入院基本料内数) 急性期一般入院基本料	2,156

## 褥瘡推定発生率 (DESIGN-R®分類の d2 以上)

---

### 定義

褥瘡推定発生率 (DESIGN-R®分類の d2 以上) = A ÷ B × 100 (単位 : %)

A : 1か月間で新たに褥瘡を生じた患者数 (DESIGN-R®分類の d2 以上の人数の合計)

B : 1か月間の病棟の入院実患者数

### 留意事項

- DESIGN-R®分類における d2 は真皮までの損傷を表します。
- 1人につき複数回、新たに褥瘡が発生した場合も1人と計上しています。
- 医療関連機器圧迫創傷 (MDRPU) は褥瘡に含みます。

## 2025 年度 10 月分における集計値

	データ件数 (病棟数)	25 パーセン タイル値	中央値	75 パーセン タイル値	平均値	標準偏差
一般病床	2,438	0.0	0.0	1.1	0.9	1.7
療養病床	42	0.0	1.6	5.5	3.7	5.1

## カテーテル関連の尿路感染（CAUTI）発生率

---

### 定義

カテーテル関連の尿路感染（CAUTI）発生率 =  $A \div B \times 1000$  （単位：‰）

A : 1か月間に発生したカテーテル関連の尿路感染件数

B : 尿道留置カテーテルを使用していた全患者の、1か月間の尿道カテーテルの総使用日数

### 留意事項

- カテーテル関連の尿路感染の定義は、(1)JANIS、または(2)JHAIS、もしくはCDC/NHSN サーベイランスの感染症判断基準に準じます。
- 1人の患者が2回感染した場合は「2件」と計上しています。

## 2025年度10月分における集計値

	データ件数 (病棟数)	25パーセンタイル値	中央値	75パーセンタイル値	平均値	標準偏差
一般病床	1,422	0.0	0.0	0.0	1.5	4.0
療養病床	24	0.0	0.0	0.7	1.5	3.1

## 転倒・転落発生率(レベル1～5の計)

---

### 定義

入院患者の転倒・転落発生率 =  $A \div B \times 1000$  （単位：‰）

A : 入院患者に発生した転倒・転落の件数（レベル1～5の計）

B : 1か月間の病棟の在院患者延べ人数

### 留意事項

- 「転倒」とは「自分の意志からでなく、地面またはより低い場所に足底以外の身体の一部が接触すること。スリップ、つまずき、よろめきによる、同一平面上（段差のないところ）で転ぶこと」を指します。
- 「転落」とは「段差（高低差）のあるところから落ちること」を指します。
- 1人の患者が2回転倒/転落した場合は「2件」と計上しています。

## 2025年度10月分における集計値

	データ件数 (病棟数)	25パーセンタイル値	中央値	75パーセンタイル値	平均値	標準偏差
一般病床	2,855	0.0	2.0	3.6	2.4	2.6
療養病床	57	0.7	2.1	3.8	3.0	3.9

## 誤薬発生率（レベル1～5の計）

### 定義

$$\text{誤薬発生率} = A \div B \times 1000 \quad (\text{単位: \%})$$

A : 1か月間に発生した影響度のレベル別の誤薬件数

B : 1か月間の病棟の在院患者延べ人数

### 留意事項

- 「誤薬」は、看護職員（看護補助者は含まない）による与薬に関するエラー（人の誤りによる事象）をすべて計上します。
- 薬剤間違い、与薬量間違い、患者間違いなどの内容は問いません。
- 1人の患者で2回誤薬が発生した場合は「2件」と計上しています。

### 2025年度10月分における集計値

	データ件数 (病棟数)	25パーセン タイル値	中央値	75パーセン タイル値	平均値	標準偏差
一般病床	2,751	1.0	2.8	5.3	4.3	5.9
療養病床	59	0.0	0.9	2.3	1.4	1.7

## 看護職員の時間外労働時間（非管理職）

### 定義

$$1\text{ヶ月間の1人あたり月平均時間外労働時間数(非管理職)} = A \div B$$

A : 毎日の看護職員の時間外労働時間数の1ヶ月分の合計

B : 看護職員の実人数

### 留意事項

- 看護職員（非管理職）の時間外労働時間数は、正規雇用職員だけでなく、非常勤職員も含んで計算しています。

### 2025年度10月分における集計値

	データ件数 (病棟数)	25パーセン タイル値	中央値	75パーセン タイル値	平均値	標準偏差
一般病床	2,704	4.0	7.4	11.7	8.4	5.8
療養病床	44	1.6	2.5	4.9	3.9	4.1

(2026年2月4日掲載)